

令和6年度動物由来感染症検査結果

飼養されている動物から感染する病原体の汚染状況及び感染の恐れがある疾病の実態を把握し、動物飼養者、動物取扱業者等への指導啓発に資するため、調査研究を実施しました。

なお、対象疾病は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定されている動物に由来する感染症を中心に検査しました。

検査対象疾病及び検査結果

検査対象疾病	対象動物	検査件数	検査方法	検査結果		備 考
				陽性 (陽性率)	陰性	
オウム病	鳥類	15	PCR法による オウム病クラミジア 遺伝子の検出	0 (0%)	15	当所収容鳥類
サルモネラ症	爬虫類	25	分離培養及びPCR法 による原因菌の検出	2 (8%)	23	当所収容爬虫類
猫ひっかき病	猫	37	分離培養法による 原因菌の検出	13 (35%)	24	当所手術依頼で搬入され る飼い主のいない猫
コリネバク テリウム・ウ ルセランス 感染症	犬	20	分離培養法による 原因菌の検出、 PCR法によるジフテ リア毒素遺伝子の検出	0 (0%)	20	当所収容犬及び当所手術 依頼で搬入される飼い主 のいない猫
	猫	20		0 (0%)	20	
カプノサイ トファー ガ・カニモル サス感染症	犬	20	PCR法によるカプノ サイトファーガ遺伝子 の検出	6 (30%)	14	当所収容犬及び当所手術 依頼で搬入される飼い主 のいない猫
	猫	20		13 (65%)	7	
カプノサイト ファーガ・サ イノデグミ感 染症	犬	20	PCR法によるカプノ サイトファーガ遺伝子 の検出	10 (50%)	10	当所収容犬及び当所手術 依頼で搬入される飼い主 のいない猫
	猫	20		16 (80%)	4	

※ 検査機関（当所実施以外）

衛生研究所: オウム病、サルモネラ症、コリネバクテリウム・ウルセランス感染症、カプノサイトファーガ・カニモルサス感染症、カプノサイトファーガ・サイノデグミ感染症

日本大学 : 猫ひっかき病